

サービス産業動態統計調査 欠測値の取扱いについて

サービス産業動態統計調査では、我が国におけるサービス産業の事業活動の動態を適切に把握するため、未回収調査票及び未回答（不備のある回答を含む。以下同じ。）項目について、利用可能な他の関連情報を活用し、補足訂正（補完）を行っている。その具体的な取扱いは、以下のとおりである。

1. 未回収調査票の取扱い

(1) 調査1か月目

最新の経済センサスー活動調査等の年間売上高や従業者数等の関連情報を活用して補完を行った上で集計している。当該調査客体の情報がない場合には産業別の情報を使用している。

(2) 調査2か月目以降

当月回答された項目の層区分（産業分類、事業従事者規模）別の変化率を計算し、これに未回収調査客体の前月値を乗じて得られた値を補完して集計している。なお、層区分別の変化率は、売上（収入）金額、従業者総数、送出者数及び受入者数の項目ごとに計算している。また、事業従事者数は、従業者総数から送出者数を減算し、受入者数を加算した値としている。

2. 未回答項目の取扱い

他の関連する項目の回答状況に基づいて補完を行った上で集計している。なお、他の関連する項目の回答状況に基づいて補完を行うことが困難な場合は、上記1と同じ方法に基づいて、未回答項目の補完を行って集計している。